

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約6.0億円
		特定交通安全施設等整備事業 (国) 179号	たつの市新宮町平野	うち用地補償費	約3.8億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
たつの市新宮町平野				平成19年度	平成23年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・自転車利用者、歩行者交通量が多く人と車の輻輳による危険性の高い当路線において、自転車歩行者道の整備を行い、歩車分離を図ることで交通安全対策を推進する。	自転車歩行者道整備(片側) L = 1, 3 6 0 m W = 3 . 0 m (3 . 5) m (片側) 現 況 歩道なし (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車11,618台/日、歩行者56人/日、自転車91台/日) ・過去5年間に事業予定区間で自転車・歩行者の交通事故(3件)が発生している。 ・死傷事故率(124人/億台km) ・大型車混入率33.1% ・当区間は福祉のまちづくり重点地区(中学校周辺地区)へのアクセス道路であり、バリアフリーに配慮した自歩道整備が必要である。 ・現在は市道が通学路となっているが、当区間に自歩道整備が行われれば、東栗栖小学校の通学路に指定され、新宮中学校への自転車通学にも利用されると考えられる。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道の必要性が提案されている。 ・当区間からアクセスする福祉のまちづくり重点地区内には道の駅しんぐう、たつの市新宮ふれあい福祉会館、JR播磨新宮駅、たつの市新宮総合支所、新宮小・中・高等学校があり、多様な交通環境にある。 ・連続性の確保 (前後の整備状況・・起点側：既設自歩道W=3.5m、終点側：既設歩道W=2.0m)
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。 ・東栗栖小学校以西については現在、自歩道整備事業を実施しており、当区間と一体的に取り組むことにより「道の駅しんぐう」を間に挟み、播磨新宮駅から千本駅までの間の歩道が連続することとなる。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の通学路に指定されている市道は幅員が3.0~4.0mと狭く、朝夕の通勤通学時には、歩行者と自転車利用者が輻輳するなど危険な状況にあり、国道179号に自歩道を整備することにより、歩車分離の安全な通学環境を創出することが必要である。